



4

都市基盤部門計画



ひとにやさしく
安全・安心で活力あふれるまち
(p176)

<p>4-1 活力ある 都市づくりの 推進(p178)</p>	<p>4-1-1 いつまでも住み続けたい まちづくり(p180)</p> <p>4-1-2 みんなで考え、使い、育む 公共交通(p182)</p>
<p>4-2 計画的な 道路整備と 維持管理(p184)</p>	<p>4-2-1 安全・快適な幹線道路網の 整備(p186)</p> <p>4-2-2 より安全で安心な道路環境 の整備(p188)</p>
<p>4-3 河川砂防・ 雨水排除施設の 整備(p190)</p>	<p>4-3-1 安全安心な雨水排除施設の 整備(p192)</p>
<p>4-4 持続可能な 水道経営(p194)</p>	<p>4-4-1 水道経営基盤の充実 (p196)</p>
<p>4-5 安全で強靱な 水道の持続(p198)</p>	<p>4-5-1 安全な水道水の供給 (p200)</p> <p>4-5-2 強靱な水道の整備と維持 (p202)</p>
<p>4-6 効率的な 污水处理施設の 整備・維持管理(p204)</p>	<p>4-6-1 環境にやさしく快適な 下水道の整備(p206)</p> <p>4-6-2 下水道経営基盤の充実 (p208)</p>

政策

基本施策

施策

4 都市基盤部門

総合計画基本構想に掲げるまちづくりの「視点」との関係

● 特にこの部門に関連する視点：**活かす** **暮らす**

(1) この部門の目指す4年後のまち

Vision

ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

【設定理由】

生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。
また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。

(2) この部門が4年間で取り組むこと

Mission

市民の暮らしを支える生活基盤の整備・維持

【設定理由】

生活基盤の整備と維持は、市民の日常生活に必要不可欠であり、これまでの計画的な事業展開と、行政と市民による協働など新たな視点を加えた事業推進を図ることで、市民の安全で安心な暮らしを支えます。



(3) 政策の進捗に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合



【設定理由】

市民の安全で快適な暮らしを支えるためには、道路、河川、公園や上下水道などの生活基盤の整備や維持管理を着実に進める必要があります。そうすることで、住みやすい市であると感じていただけると考えられることから、「滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

岩手山をはじめとする恵まれた自然を身近に感じながら、安心して快適に暮らし交流することで、生きがいや幸せを実感することが、市への愛着につながることから「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) 部門における環境分析

【外部環境分析】

国からの補助金、交付金が減少し少子高齢が進展するなか、これまでの仕組みから、行政と市民が協働して事業を推進する体制づくりが必要です。

また、地震、豪雨等による災害発生時におけるライフライン確保のため、施設の老朽化対策や耐震化の推進、緊急時対応の体制確立が必要です。

【内部環境分析】

ビッグルーフ滝沢や滝沢中央 SIC の整備を契機に、拠点形成による新たな雇用機会創出や除雪事業など地域と連携した事業の推進に向けた検討が必要です。また、生活基盤の機能維持や事業の安定的な継続を図るため、事業の効率化や財源確保、人材の確保・育成に努める必要があります。

政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-1 活力ある都市づくりの推進

この基本施策の所管: **都市整備部都市政策課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この部門の目指す4年後のまち

Vision

活力ある都市づくりの推進

【設定理由】

都市計画、住宅、公園、景観など都市に関する施策の推進により、魅力と活気が満ち安心して充実した日常生活を送ることができる都市づくりを目指します。

(2) この部門が4年間で取り組むこと

Mission

拠点の形成に向けた土地利用の推進と公共交通の利便性向上

【設定理由】

将来的なまちの姿を見据え、土地利用と公共交通が連携した都市づくりが必要となります。市民がふれあい交流するための拠点や、雇用や活力を生み出す拠点形成の推進と、市内の主要拠点間における公共交通の利便性向上を図り、活力ある都市づくりを進めます。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

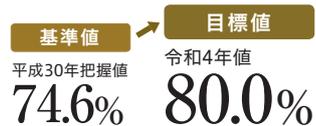


【設定理由】

魅力と活気が満ち安心して充実した日常生活を送ることができる都市づくりを進めることが、住みやすい市の形成に繋がると考えられることから、「滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

岩手山をはじめとする恵まれた自然を身近に感じながら、安心して快適に暮らし交流することで、生きがいや幸せを実感することが、市への愛着につながることから「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

滝沢市は広域圏における居住機能に寄与しており、今後においても、恵まれた自然環境と共生した安全快適な住宅地の確保を図る一方、今後の少子高齢化社会を見据え、都市機能がコンパクトに集約し、市内各地域が連携した都市づくりが必要となります。

【内部環境分析】

ビッグライフ滝沢や滝沢中央 SIC の整備を契機に、都市機能の向上や新たな雇用機会創出のための拠点形成の推進が必要です。また、公園の維持管理や公共交通の維持確保など、地域と連携・協働した事業の推進に向けた検討が必要です。

政策

基本施策

施策

4-1 活力ある都市づくりの推進

4-1-1 いつまでも住み続けたいまちづくり

この施策の所管: **都市整備部都市政策課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 中心拠点の整備及び交通結節拠点・産業拠点計画の調査検討
- ◆ 都市計画の見直し（用途地域等）
- ◆ 地籍調査の実施
- ◆ 空き家対策の展開
- ◆ 滝沢総合公園修景施設長寿命化計画の実施
- ◆ 一般公園の遊具定期点検、住民協働の取組みの推進



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

住民基本台帳（9月末現在）による人口

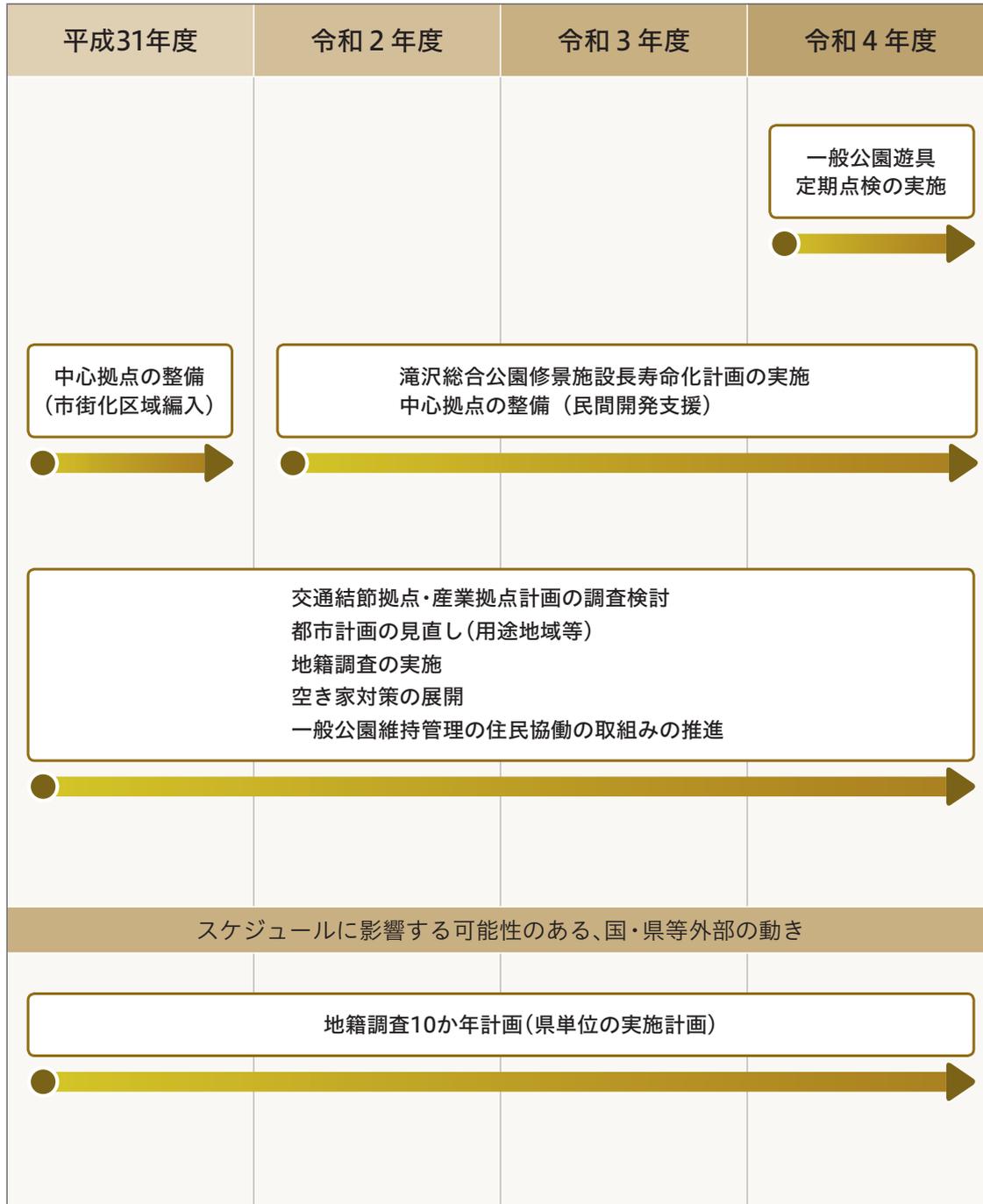


【設定理由】

滝沢市を「居住地」として選択する人の数を「いつまでも住み続けたいまち」の客観指標として、長期的にその傾向を分析しようとするもので、転居等による月間の変動が比較的少ない「住民基本台帳（9月末現在）による人口」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

4-1 活力ある都市づくりの推進

4-1-2 みんなで考え、使い、育む公共交通

この施策の所管:都市整備部都市政策課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件:交通の便がよく、移動しやすい

(1)この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

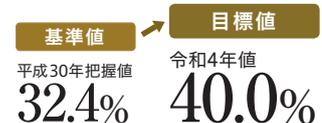
- ◆ 交通広場及び施設の維持管理
- ◆ 小岩井駅前広場整備の実施及び待合環境整備の検討
- ◆ 利用しやすい市内交通体系の検討
- ◆ 地域主体の新たな交通モードの検討
- ◆ 公共交通利用促進策の実施
- ◆ 公共交通事業者への支援



(2)この施策に関連する指標

①暮らしやすさ指標

**市内のバスや電車は便利で利用しやすいと
思っている人の割合**



【設定理由】

利用しやすい市内交通体系の検討や公共交通の利用促進策の実施により、市民が使いやすい公共交通の維持、改善、確保が図られるため「市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<p>小岩井駅前広場整備 (用地補償)</p>	<p>小岩井駅前広場整備 (工事)</p>	<p>小岩井駅待合環境整備の検討</p>	
<p>利用しやすい市内交通体系の検討 地域主体の新たな交通モードの検討 公共交通利用促進策の実施 公共交通事業者への支援</p>			
<p>スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き</p>			

政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-2 計画的な道路整備と維持管理

この基本施策の所管: **都市整備部道路課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **交通安全が保たれている**

この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

計画的な道路整備と維持管理

【設定理由】

安心・快適な暮らしを支える重要な生活基盤である道路について、少子高齢化の進行や施設の老朽化による補修・更新需要の増加が見込まれる中、道路網の整備とともに、既存道路ストックの効果的な利活用によるコスト縮減を含めた維持管理を計画的に実施し、安全で安心な道路環境の整備を目指します。

この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

老朽化する道路施設に対する効率的対応と、安全で快適な道路網の整備

【設定理由】

日常生活に安全性と快適さを提供する道路整備を効率的・計画的に推進するとともに、道路施設の老朽化による補修・更新需要の増加に適切に対応し、道路利用者の安全を確保することが、「計画的な道路整備と維持管理」につながります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

交通事故発生件数



【設定理由】

交通安全に配慮した道路整備を推進していくことが、交通事故のない安全で快適なまちづくりの実現につながるため「交通事故発生件数」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

子どもが安全に通学できると感じる人の割合



【設定理由】

子ども達が安全に通学できる道路は、高齢者を始めとする地域住民が安全に利用できる道路であり、安全で快適なまちづくりの実現につながるため「子どもが安全に通学できると感じる人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

道路・橋梁等の老朽化による補修・更新需要の増加に適切に対応し、道路利用者の安全を確保する必要があります。

将来の少子高齢化を見据えて、交通安全に主眼をおいた道路整備を推進していく必要があります。

【内部環境分析】

住民協働による市道の除排雪や修繕作業が行われており、更に多くの自治会に拡がるのが期待できます。

道路・橋梁等の老朽化対策や交通安全対策を着実に進めるため、安定的な財源の確保とともに技術系職員の確保・安定が必要となっています。

政策

基本施策

施策

4-2 計画的な道路整備と維持管理

4-2-1 安全・快適な幹線道路網の整備

この施策の所管: **都市整備部道路課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **交通安全が保たれている**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

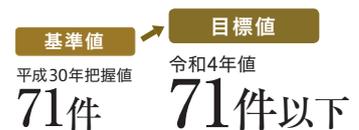
- ◆ 市内の地域間を安全かつ円滑に移動できる幹線市道の整備
- ◆ 中心市街地形成に向けた市道の整備
- ◆ 市内交通の骨格となる国道及び県道の整備促進のための要望活動
- ◆ 道路網の将来像を定める道路整備計画の策定



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

交通事故発生件数



【設定理由】

交通安全に配慮した道路整備を推進していくことが、交通事故のない安全で快適なまちづくりの実現につながるため「交通事故発生件数」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
幹線市道の整備			
●————→			
中心市街地形成に向けた市道整備			
●————→			
国・県道の整備促進のための要望活動			
●————→			
道路整備計画の策定			
●————→			
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			

政策

基本施策

施策

4-2 計画的な道路整備と維持管理

4-2-2 より安全で安心な道路環境の整備

この施策の所管: **都市整備部道路課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 協働除雪を主体とした除雪計画の見直し
- ◆ 住民主導による協働除雪の浸透と展開
- ◆ 道路維持管理計画の策定、舗装維持管理計画の推進
- ◆ 市道改修事業、交通安全施設整備事業の推進
- ◆ 橋梁定期点検及び橋梁補修の実施



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

滝沢市に愛着がある人の割合

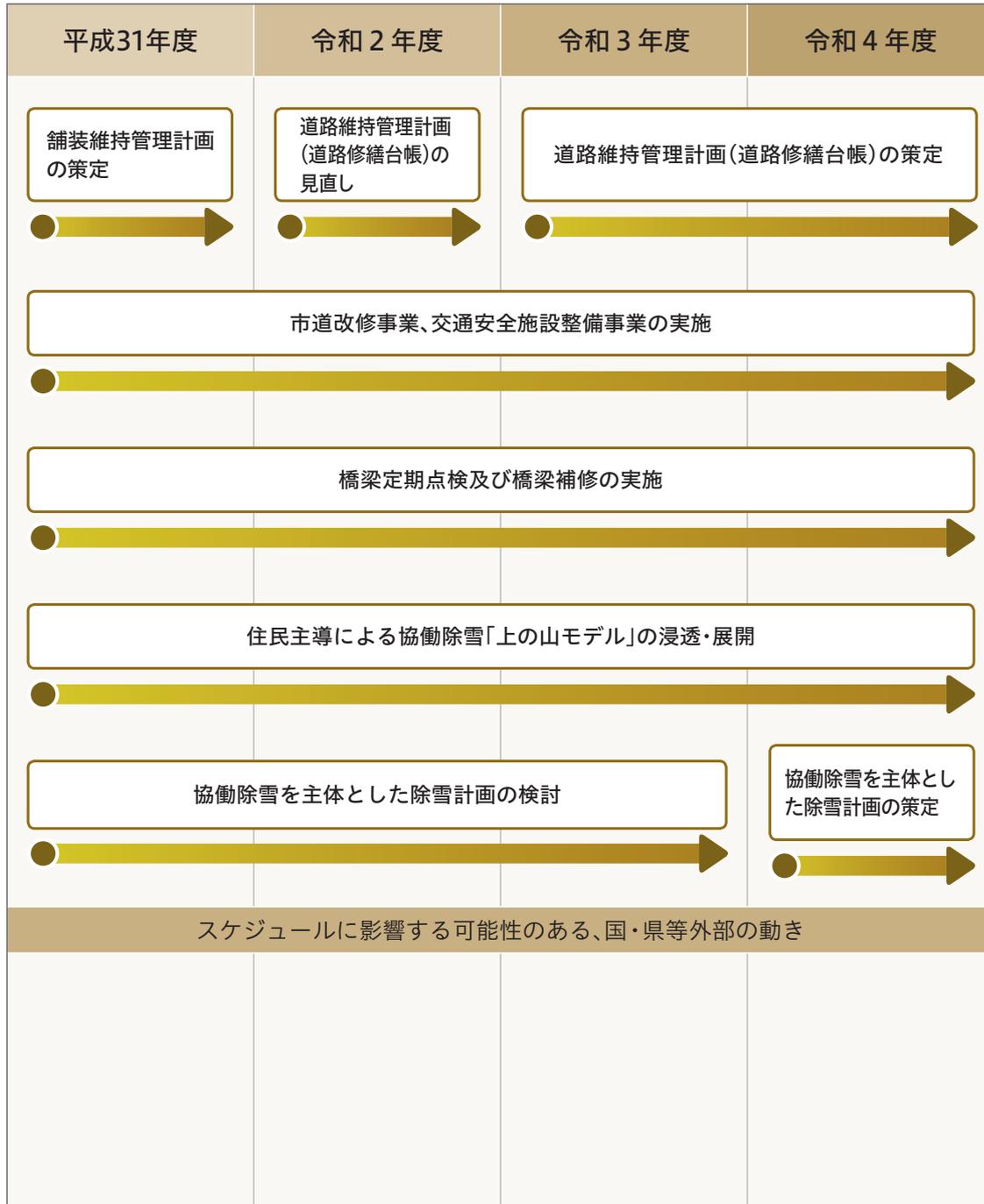


【設定理由】

より安全で安心な道路環境を整備することで、安全・快適で暮らしやすい生活環境を市民に提供できること、及び、市民が主体的に除雪等の地域課題解決に取り組むことで自分達の道路と実感できることから「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-3 河川砂防・雨水排除施設の整備

この基本施策の所管: **都市整備部 河川課・上下水道部 下水道課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

河川砂防・雨水排除施設の整備・維持

【設定理由】

市内の河川や市街地の雨水排水氾濫による浸水被害を未然に防止するため、浸水対策にかかる計画的な整備を行うとともに、河川砂防や土石流・地すべりなどから市民を守るため、これらを所掌する国や県に協力し必要な整備を推進し、適正な維持に努め自然災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。

この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

安全安心な河川・雨水排水除去施設の整備と維持

【設定理由】

河川や下水道（雨水）整備を継続するとともに、将来的な整備方針をさだめ、限られた財源の中で計画的・効率的な改築工事及び維持修繕を行うとともに、保全や河川の美化などの地域活動を推進し、これを支援していきます。

また、自然災害から市民の財産を守るため、災害の恐れのある個所を整理し、将来的な整備方針を定め、国や県の直轄事業の要望と実施にかかる協力を行ってまいります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

浸水被害件数



【設定理由】

強雨に対する必要な浸水対策が実施されているかを確認する一つの指標として、実際の浸水状況を把握する「浸水被害件数」を指標としています。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

浸水被害の無い安全安心な住環境が確保されていることで、滝沢市への愛着が強くなると考えたため「滝沢市に愛着のある人の割合」を指標としています。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

西日本豪雨など、近年の異常気象による局地的集中豪雨により、浸水の被害などが発生しています。また、地すべりや土砂崩れなどにより住民の自然災害に対する不安が増大しています。不安の解消には計画的な河川改修の対策が望まれますが、補助事業など国、県の補助金の確保が厳しい状況となっています。

【内部環境分析】

普通河川などの整備には、災害復旧事業を中心に事後保全を主体に実施しています。今後の整備には多大な費用と時間を要することから、河川の整備方針をまとめ財源も含めて検討する必要があります。また、河川の草刈りなど地域と連携した取り組みの検討を進める必要があります。

政策

基本施策

施策

4-3 河川砂防・雨水排除施設の整備

4-3-1 安全安心な雨水排除施設の整備

この施策の所管: **都市整備部 河川課・上下水道部 下水道課**

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **地域に安心できる防災の仕組みがある**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 地域協働による河川維持等への取り組み
- ◆ 準用河川仁沢瀬川改修の実施
- ◆ 河川台帳の整備（準用河川および普通河川）
- ◆ 下水道事業（雨水）による浸水対策事業の実施
- ◆ 巢子川整備計画の検討



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

災害に強いまちだと感じている人の割合

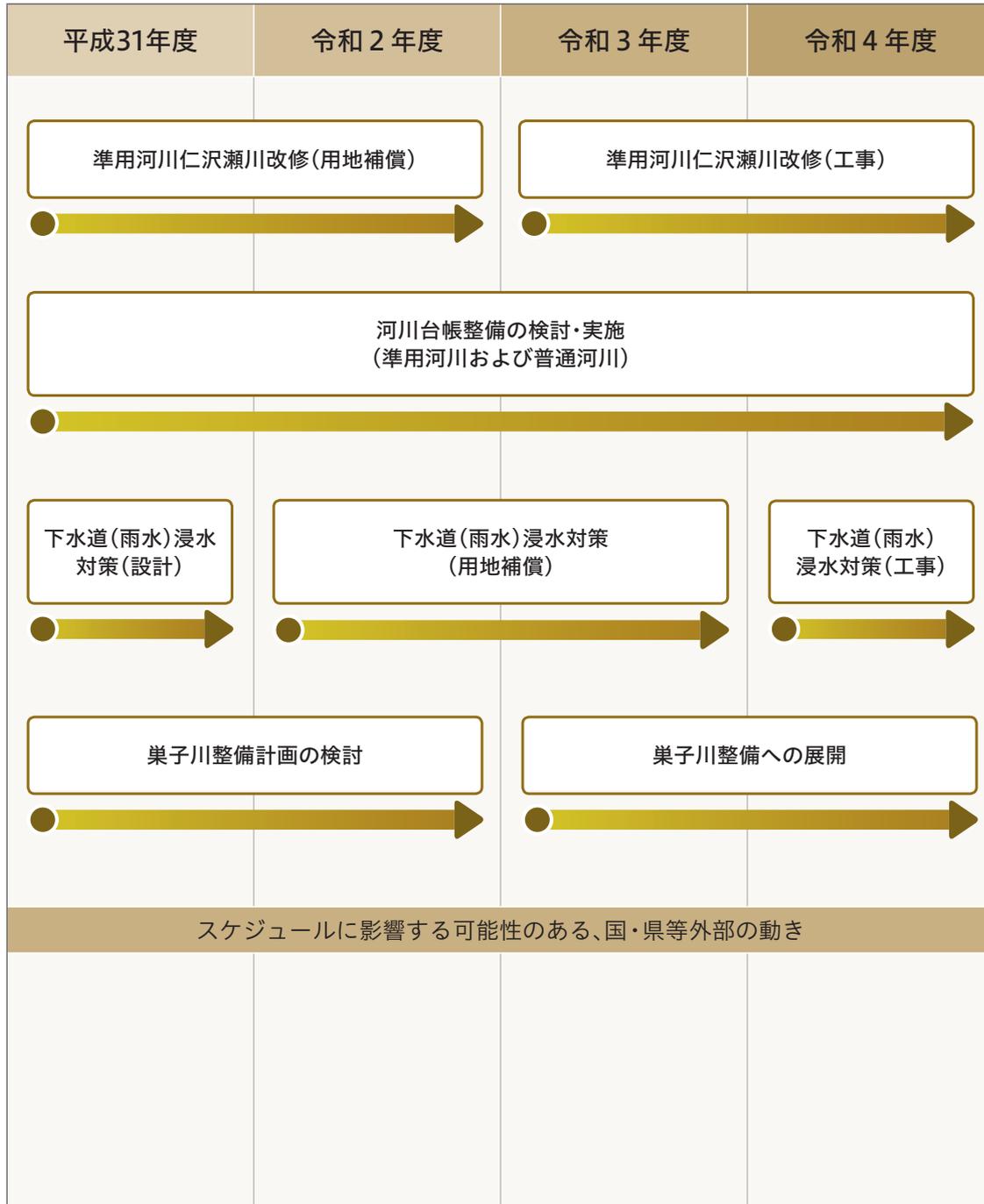


【設定理由】

国・県・市がそれぞれの役割を果たし、あらゆる自然災害に必要なハード対策が実施され、それが市民に伝えられているかを確認する一つの指標として、「災害に強いまちだと感じている人の割合」を指標としています。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-4 持続可能な水道経営

この基本施策の所管：上下水道部水道総務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：**ずっと住みたいと思える市である**

この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

持続可能な水道経営

【設定理由】

水道は、市民生活に欠かすことのできないライフラインであり、重要な都市基盤施設です。今日の人口減少社会において、将来にわたって市民が期待する安全でおいしい水の提供を継続していくため、必要な財源の確保・人材育成に努め、広域連携も視野に入れた良好な経営状態を構築していく必要があります。

この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

コスト縮減と適正財源の確保について、市民との情報共有・共通理解を図り、健全経営に努めます。

【設定理由】

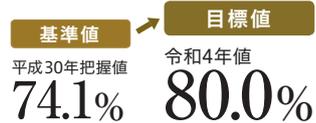
持続可能な水道経営を達成するためには、コスト縮減による支出抑制と、来たる人口減少社会による水道料金収入の減少と水道施設の老朽化に備えた新たな財源確保が必須であり、その実現には市民との双方向コミュニケーションやわかりやすい情報の提供による共通理解を得ることが重要と考えます。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合

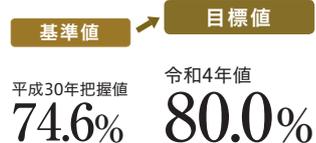


【設定理由】

人間が生きていく上でも生活する上でも欠かせないのが飲料水であり生活用水です。水道水を技術的にも経営的にも安全に安定して継続的に提供できる経営体を構築し、サービスし続けることが暮らしやすさの一要因と考え、「滝沢は住みやすい市だと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

平成30年度に実施した水道アンケートでのコメント「子供たちが帰省のたびに滝沢の水はおいしいといってくれるので、今後とも良質の水の提供をお願いします」のように、「水道」も市民が滝沢市に感じる愛着の一要因と考え「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

近年の自然災害の多発により、強靱な水道構築や復旧体制の構築への意識が高まっています。一方、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、水道の基盤の強化を図るため、国が「広域連携の推進」など5つの柱とする水道法の改正を行い、広域連携に係る県への指導や水道事業者への財政支援を計画しています。

【内部環境分析】

滝沢市では本総合計画の計画期間内での水需要の減少は見込まれていませんが、施設の更新需要の増大に伴う財源の確保、及び人材不足による技術継承や事故時の人的対応能力の低下が懸念されており、広域連携も視野に入れた適正な人材配置と人材育成による業務遂行能力の保持が必要とされています。

政策

基本施策

施策

4-4 持続可能な水道経営

4-4-1 水道経営基盤の充実

この施策の所管: 上下水道部水道総務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

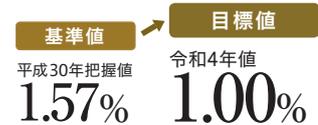
- ◆ 水道利用者に密着した顧客サービスの向上
- ◆ 適正な水道料金算定と効率的な事業運営による財政の健全化
- ◆ 職員の能力向上と技術継承による人材育成と組織力の強化
- ◆ 民間力の活用や周辺事業者との連携による官民連携・広域連携の推進



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

経営資本営業利益率



【設定理由】

本来的な事業活動の経営成績に関する総合的な指標として、投下した経営資本に対する営業利益の割合を示す「経営資本営業利益率」を指標としました。給水量が減少傾向にある中、収益性と効率性を高めることで、この指標の値を維持し、健全な水道事業経営を目指します。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-5 安全で強靱な水道の持続

この基本施策の所管：上下水道部水道総務課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：**ずっと住みたいと思える市である**

この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

安全で強靱な水道の持続

【設定理由】

水道事業の開始から40年以上が経過し、浄水場等の基幹水道施設や配水管等の老朽化が進行するなかで、岩手山麓の恵まれた水源を活用し、市民が必要とする安全な水をいつでも、いつまでも提供するため、安全で強靱な水道の持続を目指します。

この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

水源保全、適切な水道施設運転管理、老朽施設の更新、災害に強い水道施設の構築に努めます。

【設定理由】

将来にわたり安全で強靱な水道を持続するためには、水源を保全しながら活用し、適切な施設管理や運転管理により安全な水をつくり、効率的な配水管網を構築するとともに、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進め災害に強い水道施設を構築する必要があります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合

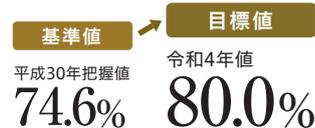


【設定理由】

市民の生活に欠かすことのできない水道水を、いつでも安心しておいしく飲んでいただくためには、水源保全・運転管理・施設管理はもとより、計画的な老朽施設の更新や耐震化に取り組む必要があることから「滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合」を指標としました。

② 《参考指標》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

市民が滝沢市に愛着を持ち、永く住み続けたいと思っていただくためには、市民の重要な生活基盤のひとつである水道に対する信頼も、その一要因であると考え、「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

施設の老朽化による更新需要が高まり、水需要の減少により収入減が見込まれることから、水道法の改正に伴い、経営の合理化、広域連携、官民連携を視野に入れることも必要となります。また、自然災害が多発しているなかで災害に強い水道施設の整備が必要とされています。

【内部環境分析】

水道事業開始から40年以上経過し、浄水場等の基幹水道施設や配水管等の老朽化が進み、水道施設の補修、更新が求められています。また、人材不足による技術継承や緊急時の対応能力低下が懸念され、適正な人材配置と育成が必要とされています。

政策

基本施策

施策

4-5 安全で強靱な水道の持続

4-5-1 安全な水道水の供給

この施策の所管: 上下水道部水道整備課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 水源の保全、監視と適正な維持管理の実施
- ◆ 水道施設の衛生管理の徹底
- ◆ 柳沢大湧口水源の有効活用に向けた施設整備
- ◆ バックアップ可能な連絡管の整備



(2) この施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合



【設定理由】

安全な水道水を市民に供給し、水道が市民から信頼されることが重要であり、市民が常日頃から「水道水がおいしい」と感じる事が大切なことから「滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合」を指標としました。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">導水管敷設の検討</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">導水管敷設工事の設計</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">導水管敷設工事の実施</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柳沢低区浄水場の廃止</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柳沢高区第2配水池の整備方針検討</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柳沢高区第2配水池の設計</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柳沢高区第2配水池の整備着手</div>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柳沢取水ポンプ場非常発電機の設置</div>	
スケジュールに影響する可能性のある、国・県等外部の動き			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">改正水道法の施行</div>			

政策

基本施策

施策

4-5 安全で強靱な水道の持続

4-5-2 強靱な水道の整備と維持

この施策の所管: 上下水道部水道整備課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

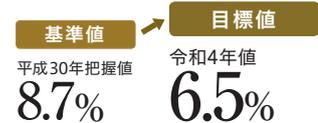
- ◆ 管路更新計画の策定
- ◆ 老朽配水管更新の実施
- ◆ 重要給水施設配水管路の耐震化
- ◆ 漏水調査の実施と漏水修繕



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

漏水率

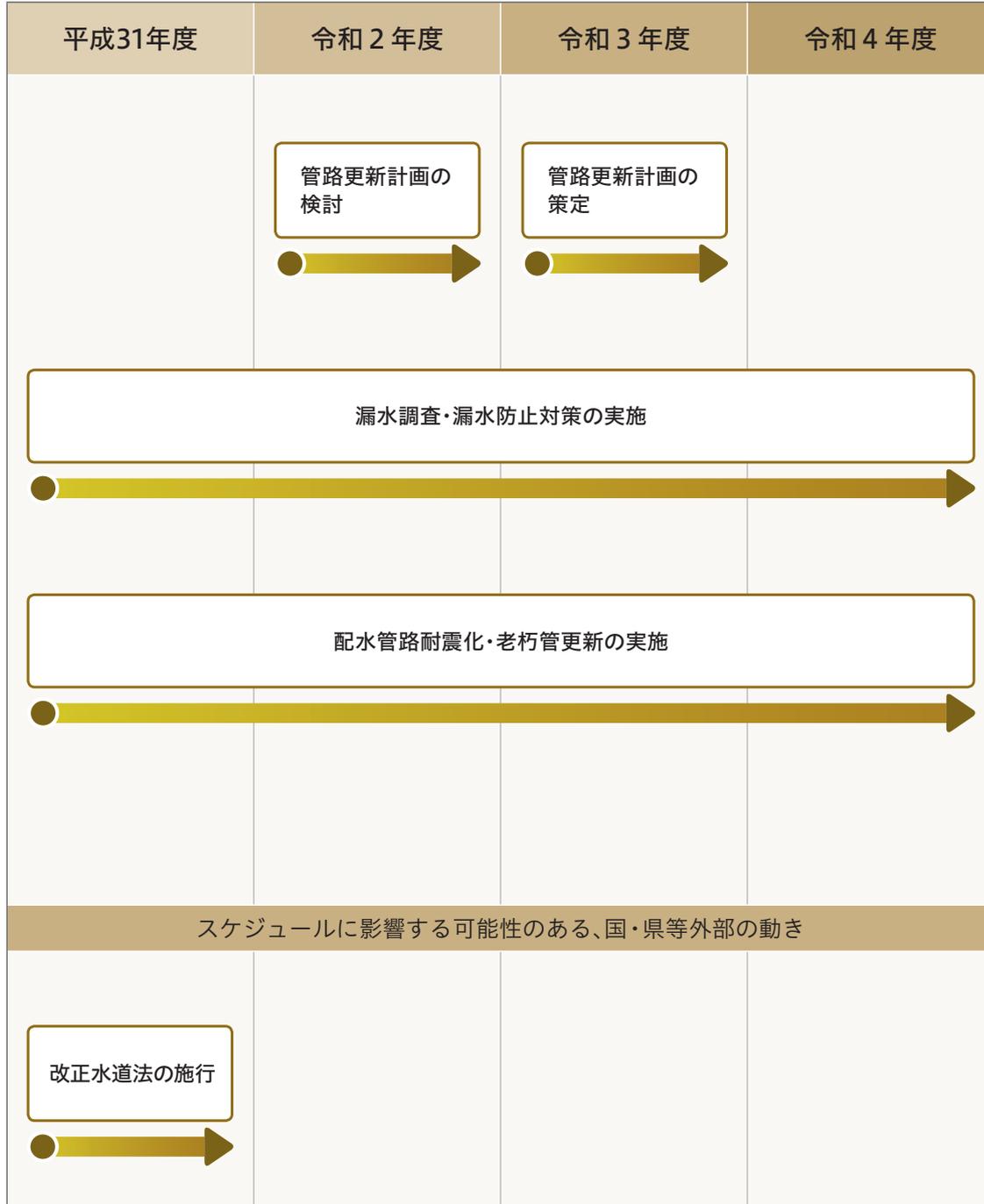


【設定理由】

漏水は、貴重な水源の損失だけでなく、吐水量や水圧の低下など使用者への直接的影響や道路陥没などの事故発生の危険性を含んでおり、事業経営の効率化や管路の健全化を表す指標として「漏水率」を指標としました。

(3)この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

都市基盤部門

4-6 効率的な污水处理施設の整備・維持管理

この基本施策の所管：上下水道部下水道課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの基本施策に関連する最適化条件：**ずっと住みたいと思える市である**

この基本施策の目指す4年後の姿

Vision

効率的な污水处理施設の整備・維持管理

【設定理由】

市民の快適で衛生的な暮らしに寄与し、良好な水環境を保全するために、限られた財源の下で、採算性を考慮した効率的な公共下水道の整備及び維持管理が必須となります。また、水洗化率の向上にあたって、地域によっては、合併処理浄化槽の普及による污水处理が必要です。

この基本施策が4年間で主に取り組むこと

Mission

採算性の算定に基づいた公共下水道の整備や維持管理と、合併処理浄化槽の普及

【設定理由】

安定した事業経営と水洗化率向上による市民生活の快適性を図るため、公共下水道の整備と老朽化が進む既存施設の延命を含む維持管理のほか、合併処理浄化槽の採用による事業コストの削減を図り、出来る限り低廉な投資による、採算性を考慮した事業展開が必要となります。



(3) 基本施策に関連する指標

① 暮らしやすさ指標

水洗化率



【設定理由】

下水道事業の目的として、公衆衛生の確保と生活環境の改善、水域の水質保全があげられ、達成のための必要な事項として、施設を整備し、接続が必要となることから「水洗化率」を指標としました。

なお、ここでいう水洗化率は、合併処理浄化槽も含めたものとします。

② 《参考》関係する「幸福実感象徴指標」

滝沢市に愛着がある人の割合



【設定理由】

下水道事業の目的である、公衆衛生の確保と生活環境の改善、水域の水質保全が図られたときに、市民が求める行政サービスが提供されたこととなり、市への愛着が生まれるものと考えことから「滝沢市に愛着がある人の割合」を指標としました。



(4) この基本施策における環境分析

【外部環境分析】

人口減少や節水型社会の進行による使用料収入の減少、高齢化による家屋への投資意欲の減退など危惧される中、下水道施設の老朽化への備えも必要となることから、延命化を考慮し、概ね10年を目途とした汚水処理施設の概成が求められています。

【内部環境分析】

下水道事業は、自立した経営が求められる中、全体計画に対する整備率は約80%であり、今後も整備に多大な費用と時間が必要であるとともに、事業に従事する技術職員を始め人材確保と育成が求められています。

政策

基本施策

施策

4-6 効率的な污水处理施設の整備・維持管理

4-6-1 環境にやさしく快適な下水道の整備

この施策の所管: 上下水道部下水道課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 公共下水道の整備
- ◆ 既存公共下水道施設の維持管理
- ◆ 合併処理浄化槽の普及促進
- ◆ 水洗便所改造資金に係る融資あっせん制度の利用促進



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

水洗化率

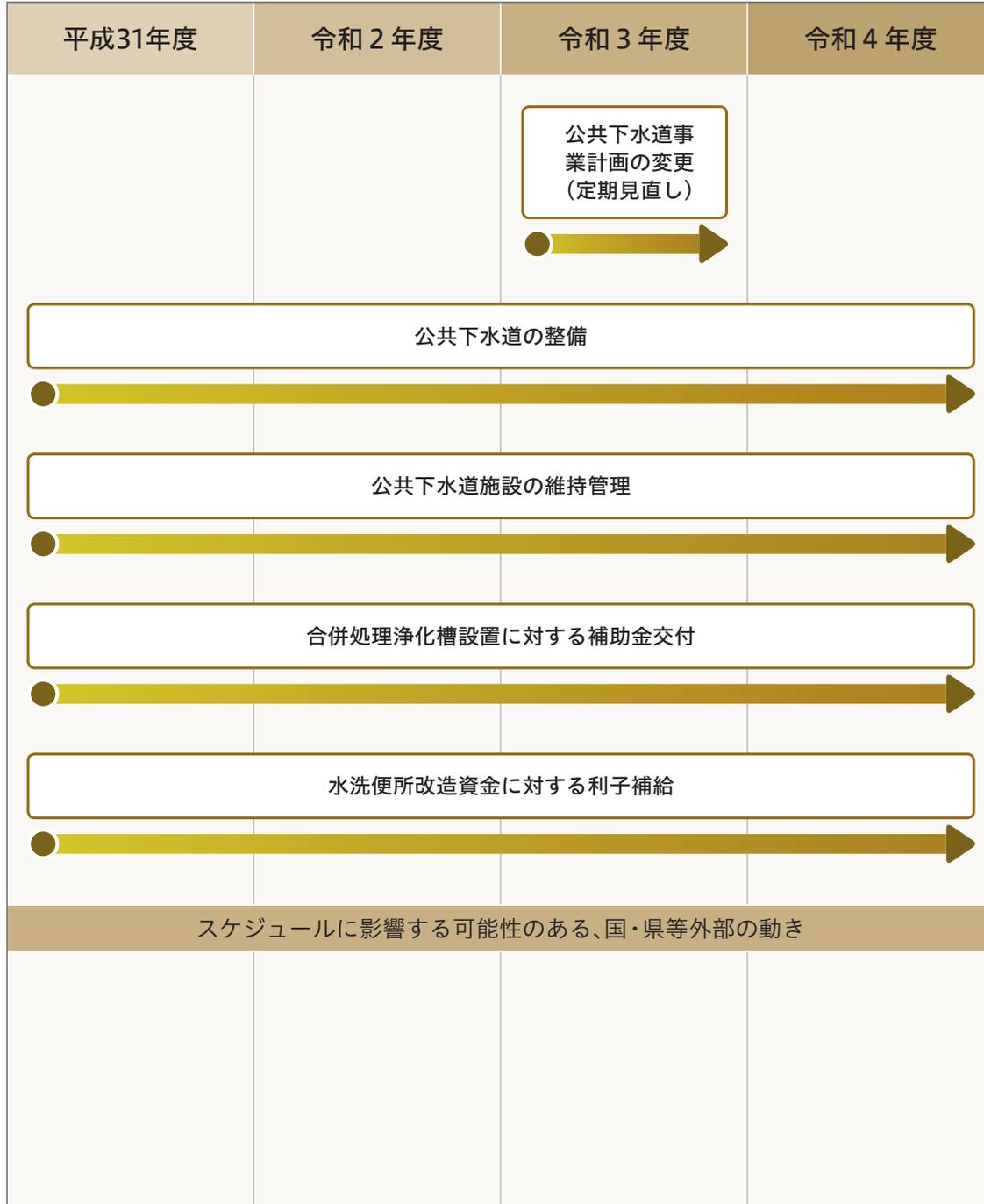


【設定理由】

下水道事業の目的として、公衆衛生の確保と生活環境の改善、水域の水質保全があげられ、達成のための必要な事項として、施設を整備し、接続が必要なことから「水洗化率」を指標としました。なお、ここでいう「水洗化率」は、合併処理浄化槽を含めたものとします。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。



政策

基本施策

施策

4-6 効率的な污水处理施設の整備・維持管理

4-6-2 下水道経営基盤の充実

この施策の所管: 上下水道部下水道課

総合計画基本構想に掲げる最適化条件との関係

- 特にこの施策に関連する最適化条件: **ずっと住みたいと思える市である**

(1) この施策が4年間で主に取り組むこと

この施策では、基本施策の目指す姿を実現するため、主に以下のことについて取り組みます。

- ◆ 経営戦略の展開及び見直し
- ◆ 経営分析及び下水道使用料の検証
- ◆ 既供用開始区域における公共下水道への接続率の向上
- ◆ 不明水対策の実施
- ◆ 技術職員等の人材確保・育成による専門的知識の蓄積及び技術の継承



(2) この施策に関連する指標

- ① 暮らしやすさ指標《前期計画時目標達成済》

経営資本営業利益率



【設定理由】

本来的な事業活動の経営成績に関する総合的な指標として、投下した経営資本に対する営業利益の割合を示す「経営資本営業利益率」を指標としました。この指標の値は高いほど良い経営状況と言えますが、下水道事業では大抵の事業者が営業損失を計上しており、その際の指標は負の値となります。

(3) この施策の4年間のスケジュール

この施策で4年間取り組む主なスケジュールは以下のとおりです。

